



## がん検診を受けましょう

今、健康な人こそ

未来の健康のために



地域福祉センターほのか  
木根 保健師

### ■がん完治の大原則

日本におけるがん検診の受診率は20%程度にとどまっており、置戸町における受診率も伸び悩んでいる現状にあります。国の調査によると、がん検診を受けていない理由の上位は、「健康に自信があり必要性を感じないから」「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」となっています。しかし、がん完治の大原則は、早期発見・早期治療であることから、今は症状がなく元気に過ごしている人にこそ、がん検診の受診をおすすめしたいのです。

### ■検診に向くがん、向かないがん

がんの中でも、比較的進行がゆっくりな大腸がん、乳がん、子宮頸がんは「検診に向くがん」とされており、反対に「検診に向かないがん」としては、進行の早い血液のがんなどがあげられます。

世界的に有効性が確立されているがん検診

- ・便潜血検査による大腸がん検診

- ・マンモグラフィによる乳がん検診
- ・細胞診による子宮頸がん検診

※日本ではこれらに加え、胃がん検診、肺がん検診も有効性があるとして推奨されています。

### ■20歳からのがん検診

子宮頸がんにおいては、20～30歳代の女性に急増しており、国内では毎年約3,500人が亡くなっています（子宮頸がんは、小さな子どもを持つ母親を死に至らしめることから、別名「マザーキラー」と呼ばれています）。子どもを産むために必要な子宮を守るためにも、20歳からの検診をおすすめします。

今の自分と未来の自分、そして家族のためにぜひがん検診を受けましょう。

上記がん検診は全て町内で受けることができます。ご相談、お申し込みは地域福祉センター健康推進係まで（☎52-3333）

### ■ご出生おめでとうございます

○水野将貴 男児 雅斗(まさと) 新光 4/10

### ■お悔やみ申し上げます

○鈴木 清春 84歳 勝山新生 4/22

○佐藤幸一郎 80歳 拓殖 4/22

○中村 敏雄 80歳 中里 4/22

○下村 初男 87歳 勝山第一 4/24

○菅野 静子 78歳 新光 4/27

○中田 正志 77歳 協生 5/4

○廣中 キヨ 93歳 心和 5/5

### 人の動き

●世帯数 1,550 世帯 (+ 2 世帯)

●人 □ 3,244 人 (- 19人)

●男1,514人(-14人) 女1,730人(-5人)

平成25年4月30日現在( )内は3月末比

### 編集後記

○健康的な食生活の普及に努める町食生活改善協議会の全面協力により、今月号から新コーナー「今晚つくれる！食改さんのかんたんレシピ」欄の連載を開始することができました。誠にありがとうございます。

○低温と悪天候に見舞われた今年のゴールデンウィーク。唯一予定していた車のタイヤ交換さえも出来ず終いで嫌になりました。 ☹